

2017年9月1日  
世界銀行  
ちばぎん証券株式会社  
株式会社千葉銀行

## 千葉銀行グループが世界銀行『グリーンボンド』(インドルピー建)を販売 ～「TSUBASA金融システム高度化アライアンス」連携施策～

ちばぎん証券株式会社(本店:千葉市、取締役社長 花島 恭一)は、「TSUBASA金融システム高度化アライアンス」<sup>※1</sup>加盟各行のグループ証券子会社<sup>※2</sup>と共同して、世界銀行(国際復興開発銀行)が発行する『グリーンボンド』(インドルピー建)を販売いたします。

世界銀行の『グリーンボンド』は、地球温暖化に苦しむ開発途上国を支援するために発行され、その資金は温室効果ガスの排出削減及び温暖化による影響に対処する世界銀行の開発プロジェクトへの融資に活用されます。

千葉銀行グループでは、投資を通じて地球温暖化対策に貢献したいという投資家の願いを世界銀行の『グリーンボンド』を通じてかなえることができるという趣旨に賛同するとともに、投資家の皆さまの多様な投資ニーズにお応えするため、インドルピー建債券の取扱いを決定したものです。

発行の概要は下記のとおりです。

また、千葉銀行も金融商品仲介業務(紹介型仲介)で同債券を取扱いますので、あわせてその概要等についてお知らせします。

※1 フィンテックをはじめ先進的なIT技術を調査・研究するために発足した枠組みで、現在、千葉銀行、第四銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行の6行が加盟しています。

※2 ちばぎん証券、第四証券、中銀証券、いよぎん証券、とうほう証券の5社。

### 記

#### 1. 債券情報

発行体: 世界銀行(国際復興開発銀行、IBRD)  
発行体格付: Aaa(Moody's) / AAA(S&P)  
発行日: 2017年9月27日  
償還期限: 2022年9月27日  
発行価格: 100%

2. 販売期間 2017年9月1日(金)から2017年9月26日(火)



### 3. 千葉銀行グループについて

千葉銀行は、預金残高 11 兆 5,657 億円および貸出金残高 9 兆 3,053 億円の地方銀行です。千葉県・東京都・埼玉県・茨城県など国内に 181 店舗を有するほか、海外にも 6 拠点を有しております。(2017 年 3 月 31 日現在) 地域のリーディングバンクとして、先進的なサービスで個人や中小企業をはじめとした地域のお客さまに、最高の満足と感動を提供する「リテール・ベストバンク」グループを目指しております。

ちばぎん証券は 1883 年(明治 16 年)に兜町最古の証券会社として創業し、千葉県内を中心に 17 店舗を展開しております。2011 年に千葉銀行の完全子会社となり、ちばぎんグループの総合力を活かしてお客さまの多様な投資ニーズに対応しております。

### 4. 世界銀行(正式名称:国際復興開発銀行 通称:IBRD)について

世界銀行は 1944 年に設立が合意された国際開発金融機関で、現在 189 の加盟国が出資し運営しています。加盟国の公平で持続可能な経済成長を目指し、IBRD は中所得国に対し、貸出・保証、リスク管理サービスに加え、開発に関わる様々な分野の専門的な分析・助言サービスを提供しています。

世界銀行のグリーンボンドが支えるプロジェクト事例		
インド: 第四次電力供給システム改善プロジェクト	電力供給システムが脆弱なインドの送電設備を強化し、温暖化ガスの排出量の削減を目指します。	 © Curt Carnemark / World Bank
中国: 森林化開発プロジェクト	風食や侵食が進む地域への森林再生と防風林の追加、既存の森林地の生物の多様化と回復を目指します。	 © Wu Zhiyi / World Bank

以上

<お問い合わせ先>

【商品に関すること】ちばぎん証券 法人部 吉井 電話:03-3660-4631

【TSUBASA金融システム高度化アライアンスに関すること】

千葉銀行 経営企画部 安藤 電話:043-245-1111 (内線 7371)

【世界銀行に関すること】世界銀行 財務局 柳 電話:03-3597-6650